

株主のみなさまへ

第73期中間のご報告

(平成22年4月1日から
平成22年9月30日まで)

株式会社 岡三証券グループ

Ⅰ 会社概要 (平成22年11月19日現在)

商 号 株式会社岡三証券グループ
(OKASAN SECURITIES GROUP INC.)

所 在 地 東京都中央区日本橋一丁目17番6号

創 業 大正12年4月4日

設 立 昭和19年8月25日

資 本 金 18,589,682,639円

従 業 員 数 3,205名
(第73期第2四半期連結ベース)

上場金融商品取引所 東京・大阪・名古屋証券取引所



本社ビル

Ⅰ 目 次

株主のみなさまへ	1
新・中期経営計画	2
経営体制	3
岡三トピックス	4
四半期連結財務諸表	6
株式の状況・株主メモ	8
キーワード	9

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととおよろこび申しあげます。

第73期中間の事業概況等をご報告するにあたり、ご挨拶申しあげます。

一昨年秋のリーマン・ショック以降、欧米経済は回復しつつも不安定さを拭いきれず、その一方で中国やインドなど新興国経済の発展が続いております。

わが国経済においても、急激な円高や新興国との競争激化など、困難な状況から脱しきれずしておりますが、広い視野から世界を俯瞰すると、内外に有望な投資対象は数多く存在しております。このような状況のもと、当社グループといたしましては、環境の変化を確実にとらえ、魅力ある商品と精度の高い投資戦略を提案することにより、お客さまの資産運用に貢献してまいりたいと考えております。

今年4月にスタートした中期経営計画に基づき、現在さまざまな経営改革を推進しております。来春には、その改革の一環として、業務の効率化と経営のスピードアップを図るため、当社およびグループ中核子会社である岡三証券の本社機能の一部を室町東三井ビルディングへ集約いたします。加えて、情報発信基地「岡三グローバルリサーチセンター」と「アジア情報室」をこの新拠点へ統合することで、中期経営計画達成のための重点施策である“地球視点からの商品・情報提供体制の構築”を推進してまいります。

今後も、役職員一丸となって経営基盤の構築とさらなる企業価値の向上を図る所存でございますので、株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

平成22年11月



取締役会長

加藤 精一



取締役社長

加藤 哲夫

新・中期経営計画

最高の商品・情報、サービスの提供に向けて

平成22年4月から平成25年3月末までを対象期間とする新たな中期経営計画を策定いたしました。平成25年4月に迎える創業90周年に向けて、当社グループ一丸となって一層の成長を目指してまいります。

■ すべてはお客さまのために

今回策定した中期経営計画は、「すべてはお客さまのために」の基本理念はそのままに、サービスのクオリティ向上を主眼にしております。グループ中核企業の岡三証券では、『地球視点』からの商品・情報提供体制の構築を図り、お客さまに最も頼りにされる資産運用のベスト・パートナーを目指してまいります。



■ 重点施策

戦略子会社3社（岡三証券、岡三オンライン証券、岡三アセットマネジメント）の重点施策は、以下のとおりです。

岡三証券

- (1) 日本を含めたグローバル商品・情報の深化
—地球視点からの商品・情報提供体制の構築—
- (2) 新しい顧客層の開拓と基盤の強化
—お客さまに最も頼りにされる資産運用のベスト・パートナー—

岡三オンライン証券

- (1) 顧客サービスの魅力と価値の向上
—圧倒的な高機能サービス—
- (2) 新しい顧客層の開拓と基盤の強化
—圧倒的なプレゼンスの獲得—

岡三アセットマネジメント

- (1) 商品開発力、運用力の強化
- (2) 営業支援体制の強化

経営体制 (平成22年11月19日現在)

当社グループ

持株会社

株式会社岡三証券グループ

当社グループ（当社および当社の関係会社）は、グループ中核企業である岡三証券株式会社をはじめとするグループ会社11社で金融その他の役務提供を伴う「投資・金融サービス業」を営んでおります。

●証券ビジネス

岡三証券株式会社
 岡三オンライン証券株式会社
 丸福証券株式会社
 三晃証券株式会社
 三縁証券株式会社
 岡三国際（亜洲）有限公司

●アセットマネジメント・ビジネス

岡三アセットマネジメント株式会社

●グループサポート／その他関連ビジネス

岡三情報システム株式会社
 岡三ビジネスサービス株式会社
 岡三興業株式会社

役員

株式会社岡三証券グループ

取締役会長	加藤 精一	執行役員	岩木 徹美
取締役社長	加藤 哲夫*	執行役員	田中 充
専務取締役	新芝 宏之*	執行役員	吉野 俊之
専務取締役	野中 計彦*	執行役員	目黒 博
常務取締役	新堂 弘幸*	執行役員	村井 博幸
取締役	田中 健一*		
取締役	金井 政則*		
取締役	武宮 健二郎*		
常勤監査役	朔 浩一		
常勤監査役	南 浩典		
監査役	伊藤 雅博		
監査役	平良木 登規男		
監査役	浅野 幸弘		
監査役	佐賀 卓雄		

(注1) *印は、執行役員を兼務しております。

(注2) 監査役 平良木 登規男、監査役 浅野 幸弘および監査役 佐賀 卓雄の3名は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

岡三証券株式会社

取締役名譽会長	加藤 精一	取締役	渡辺 正一
取締役会長	加藤 哲夫	取締役	古賀 伸一
取締役社長	田中 健一	取締役	国広 昭彦
専務取締役	岩木 徹美	取締役	青木 義一
専務取締役	金井 政則	取締役	飯田 真治
専務取締役	野中 計彦	取締役	夏目 信幸
専務取締役	武宮 健二郎	取締役	目黒 博
常務取締役	田中 充	取締役	吉村 健也
常務取締役	高松 重之	取締役	関根 淳
常務取締役	寺山 彰	取締役	林 俊男
常務取締役	小林 雅典	取締役	西本 真一
常務取締役	村井 博幸	取締役	辻 和彦
取締役	新芝 宏之	常勤監査役	伊藤 雅博
取締役	新堂 弘幸	監査役	丹 泰徳
取締役	松田 聡	監査役	朔 浩一

(注) 常勤監査役 伊藤 雅博および監査役 丹 泰徳は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

Ⅰ 岡三トピックス

■ 岡三証券グループ、産学連携で地域貢献

「第1回 三重大・岡三シンポジウム」を開催

岡三証券グループは、9月10日、三重県総合文化センターにおいて、国立大学法人三重大学との共催で「第1回 三重大・岡三シンポジウム」を開催しました。

本シンポジウムは、三重大学と岡三証券グループの産学連携協定に基づくものです。第1回となった今回は「三重県の未来を拓く」をテーマに掲げ、三重県の江畑副知事のご挨拶の後、主催者である三重大学の内田学長と岡三証券グループ会長の加藤による基調講演を行いました。また、特別講演として、建築家の安藤忠雄氏より「発想力・想像力が地域の未来を拓く」と題したご講演を賜りました。

当日は、三重県内各地から約950名のご参加があり、会場を埋め尽くす大盛況となりました。



基調講演を行う三重大学内田学長

■ 岡三証券、中国銀河証券と業務提携

提携記念セミナーを国内4都市で開催

岡三証券は、7月22日、中国最大級の証券会社である「中国銀河証券股份有限公司」と業務提携の覚書を締結しました。

今回の業務提携は、アジア戦略を進める岡三証券と、将来的な日本でのビジネス拡大を目指す中国銀河証券の意向が合致したことで実現しました。業務提携は、マクロ経済・証券市場等に関する情報交換や研修生の相互受け入れなど人材交流の分野から始め、将来的には新たな投資商品の共同開発などにも取り組む方針です。

なお、今回の業務提携を記念して、9月に東京、名古屋、大阪、津（三重県）において中国銀河証券の副総裁やアナリストを招いた講演会を開催し、4会場合計で1,800名を超える方々のご来場を賜りました。



調印書を交換する中国銀河証券の顧総裁（写真左）と岡三証券田中社長

■ 岡三オンライン証券、取引ツールを拡充

岡三ネットトレーダーWEB、iPhone対応アプリを順次リリース

岡三オンライン証券は、お客さまのご要望に応え、取引ツールの強化・拡充を進めています。8月には、日本株取引ツールとして新たに「岡三ネットトレーダーWEB」を追加しました。同ツールはインターネット環境があればインストール作業なしでどなたでも利用でき、情報のチェックから発注までの簡単な操作が特徴です。

また、取引所FX「くりっく365」においては、10月以降、iPhoneなどのスマートフォンへ対応したアプリ（アプリケーションソフトウェア）を順次リリースするほか、パソコン用の新ツール導入やシステムトレード対応を進める予定です。

岡三オンライン証券は、今後とも、「お客さまの声をカタチに」をコンセプトにサービスの拡充に努めてまいります。



業界初となる「くりっく365」専用iPhoneアプリ

■ 三縁証券、本店を名古屋に移転

名古屋駅前に移転し、本社機能を一本化

三縁証券は、9月21日に本店を名古屋に移転しました。同社は、本年4月に旧・六二証券と旧・大石証券が合併し「三縁証券株式会社」として発足しましたが、今般、システム統合の完了に合わせ、岐阜県大垣市と三重県桑名市で重複していた本社機能を一本化し、本社業務の効率化とともに更なる展開を図るため、本店を名古屋に移転しました。これにより、合併による相乗効果をさらに具現化してまいります。

なお、新本店への移転に伴い、旧本店（岐阜県大垣市）は大垣支店、旧桑名本店（三重県桑名市）は桑名支店へとそれぞれ改称しました。これにより同社の拠点は、3支店、6営業所に、新本店を加えた10店舗となりました。



名古屋三井ビル本館外観

新本店所在地：
愛知県名古屋市中村区名駅南
1-24-30
名古屋三井ビル本館14階

電話番号：
052-561-1811（代表）

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当年度第2四半期 (平成22年9月30日)	前年度第2四半期 (平成21年9月30日)	科 目	当年度第2四半期 (平成22年9月30日)	前年度第2四半期 (平成21年9月30日)
<資産の部>			<負債の部>		
流動資産	479,456	449,539	流動負債	396,317	364,042
現金・預金	41,995	39,169	トレーディング商品	137,239	130,259
預託金	52,106	47,440	信用取引負債	20,266	22,786
トレーディング商品	174,292	157,795	有価証券担保借入金	38,518	35,024
約定見返勘定	2,421	6,109	預り金	19,402	18,559
信用取引資産	40,626	48,901	受入保証金	30,180	28,728
有価証券担保貸付金	156,397	139,321	短期借入金	145,418	122,114
その他の流動資産	11,616	10,800	その他の流動負債	5,291	6,568
固定資産	52,610	51,477	固定負債	21,066	21,945
有形固定資産	15,882	16,012	特別法上の準備金	1,033	532
無形固定資産	10,032	9,971	負債合計	418,417	386,521
投資その他の資産	26,696	25,493	<純資産の部>		
資産合計	532,066	501,016	株主資本	94,382	94,749
			資本金	18,589	18,589
			資本剰余金	12,909	12,918
			利益剰余金	64,763	65,110
			自己株式	△ 1,880	△ 1,868
			評価・換算差額等	△ 161	846
			少数株主持分	19,428	18,899
			純資産合計	113,649	114,495
			負債・純資産合計	532,066	501,016

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当年度第2四半期累計 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前年度第2四半期累計 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	科 目	当年度第2四半期累計 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前年度第2四半期累計 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業収益	30,559	35,222	特別利益	159	25
受入手数料	19,280	22,615	特別損失	969	119
トレーディング損益	9,460	10,553	税金等調整前四半期純利益	518	5,861
金融収益	1,167	1,219	法人税、住民税及び事業税	702	1,692
その他の営業収益	652	834	法人税等還付税額	△ 1,585	—
金融費用	842	986	法人税等調整額	160	1,178
純営業収益	29,717	34,235	少数株主損益調整前四半期純利益	1,240	—
販売費・一般管理費	28,989	28,555	少数株主利益	332	457
営業利益	727	5,680	四半期純利益	907	2,532
営業外収益	764	429			
営業外費用	163	154			
経常利益	1,329	5,955			

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

受入手数料の商品別内訳		
	当年度第2四半期累計 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前年度第2四半期累計 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
株券	4,975	8,157
債券	113	85
受益証券	13,097	13,368
その他	1,092	1,004
受入手数料の合計	19,280	22,615

受入手数料

受入手数料の合計は、前年同期比14.7%減の192億80百万円となりました。主な内訳は次のとおりです。

株式関連収益は、株式市況低迷の影響で株式委託手数料が大幅に減少した結果、前年同期比39.0%減の49億75百万円となりました。一方、債券の引受けが引き続き好調であったことから、債券関連収益は同32.9%増の1億13百万円となりました。受益証券関連収益は、円高の進行などを背景に投資信託の販売が減少したことから、同2.0%減の130億97百万円となりました。また、その他の収益は、FX取引の拡大により同8.8%増の10億92百万円となりました。

(単位：百万円)

トレーディング損益内訳		
	当年度第2四半期累計 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前年度第2四半期累計 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
株券等	4,023	4,198
債券等	5,338	6,676
その他	97	△ 321
トレーディング損益の合計	9,460	10,553

トレーディング損益

ブラジルADR（米国預託証券）を含む米国株式や欧州株式など外国株式の店頭取引は活況だったものの、国内株式市況の低迷が響き、株券等トレーディング損益は前年同期比4.2%減の40億23百万円となりました。また、債券等トレーディング損益は、外貨建て債券の売買高減少等により、同20.0%減の53億38百万円となりました。なお、その他のトレーディング損益は97百万円（前年同期は3億21百万円の損失）となりました。

(単位：百万円)

販売費・一般管理費内訳		
	当年度第2四半期累計 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前年度第2四半期累計 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
取引関係費	5,565	5,159
人件費	14,435	14,436
不動産関係費	3,102	3,285
事務費	2,608	2,989
減価償却費	1,785	1,295
租税公課	272	323
貸倒引当金繰入れ	—	15
その他	1,219	1,050
販売費・一般管理費の合計	28,989	28,555

販売費・一般管理費

事務費や不動産関係費は減少したものの、支払手数料などの取引関係費や減価償却費等の増加により、販売費・一般管理費は前年同期比1.5%増の289億89百万円となりました。

株式の状況・株主メモ (平成22年9月30日現在)

株式の状況

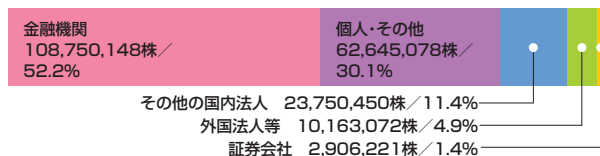
発行可能株式総数	750,000,000株
発行済株式の総数	208,214,969株
株主数	28,762名

大株主(上位10名)

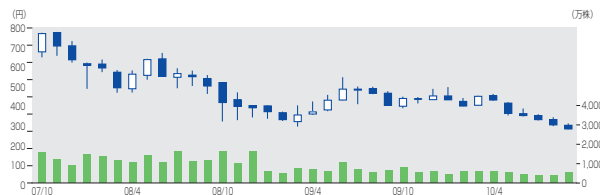
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	9,800	4.76
住友信託銀行株式会社	9,726	4.72
農林中央金庫	9,700	4.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,948	2.89
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,822	2.83
第一生命保険株式会社	5,656	2.75
大同生命保険株式会社	5,500	2.67
有限会社 藤 精	5,266	2.56
株式会社りそな銀行	4,937	2.40
株式会社みずほコーポレート銀行	4,925	2.39

※持株比率は、自己株式2,345,146株を控除して計算しております。

所有者別持株比率



株価および出来高の推移(東証・月間)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中に開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) http://www.okasan.jp やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) ☎0120-176-417 (平日9:00~17:00/土・日・祝を除く) (URL) http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

株式に関する届出および照会について

平成21年1月5日から株券が電子化されました。これに伴いまして、株式に関する届出(住所変更等)および照会は、株主さまの口座のある証券会社宛にお願いいたします。

なお、株券電子化前に証券保管振替機構(ほふり)を利用されていない株主さまには、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行に口座(特別口座といいます。)を開設いたしましたので、株主名簿管理人までご照会ください。

配当金のお受取り方法について

配当金のお受取り方法につきましては、便利なご指定口座への口座振込による方法のほか、証券会社のお取引口座において株式数に応じてお受取りいただく方法、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口でお受取りいただく方法がご利用いただけます。

お手続きにつきましては、株主さまの口座のある証券会社または住友信託銀行(特別口座に株式のある株主さま)へお問い合わせください。

key word キーワード

【外国株式 (Foreign Stocks)】

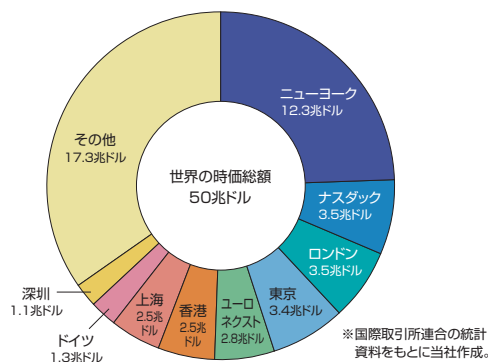
グローバルな分散投資の資産運用手段として注目

外国株式とは、米国や欧州、中国など海外(外国籍)の企業が発行する株式のことです。

外国株式の代表的な例として米国株式、欧州株式などが挙げられます。また、近年は、中長期的に高い経済成長が見込まれるBRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)やアジア地域の新興国の株式市場も注目を集めています。

米国株式は、主にニューヨークとナスダックの2つの市場があり、マイクロソフトやアップルといったIT企業や世界の最先端をいくハイテク企業など、世界規模で展開している企業が数多く上場しています。また、インド、ブラジルなど新興国の企業の株式もADR(American Depositary Receipt: 米国預託証券)という形で上場されており、米国株式として取引できます。

■ 代表的な株式市場の時価総額 (2010年9月末)

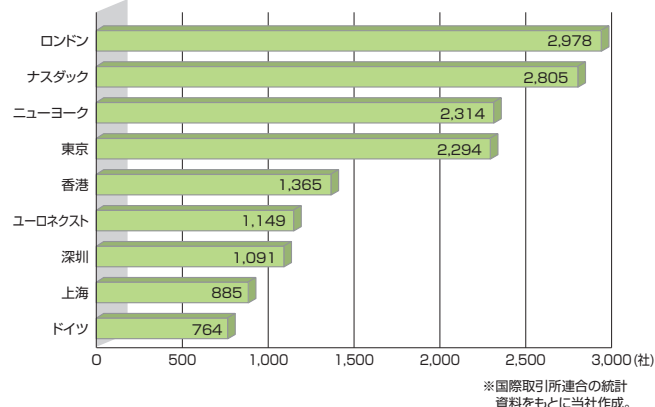


欧州株式は、ロンドン、ユーロネクスト、ドイツなどが代表的な市場です。伝統ある企業が多く、BMWやルイヴィトンなど日本でも知名度の高い企業が上場しています。

アジアには中国市場の他、インド、韓国、シンガポール、マレーシア市場などがあります。なかでも急速に時価総額が増加している中国市場の存在感が増えています。

このように世界の市場に目を向けると、世界規模で活躍している企業や成長性の高い企業も多く、グローバルな分散投資が浸透するなかで外国株式投資に対する注目度はますます高まっています。なお、外国株式は価格変動リスク、信用リスクに加え、為替リスクやカントリーリスクがありますので投資の際には注意が必要です。

■ 代表的な株式市場の上場会社数 (2010年9月末)



サービス網のご案内 (平成22年11月19日現在)

■ 岡三証券グループ ■

本 店 東京都中央区日本橋1-17-6 03(3272)2222

■ 岡 三 証 券 ■

本 店 東京都中央区日本橋1-17-6 03(3272)2211

本店東館 東京都中央区日本橋1-20-5 03(3272)2211

岡三証券トレーディングセンター

東京都江東区平野3-2-12 03(3272)2211

アジア情報館 東京都港区虎ノ門1-4-7 03(5511)7711

札幌支店 北海道札幌市中央区北二条西3-1-8 011(251)3455

仙台支店 宮城県仙台市青葉区中央3-1-24 022(265)1718

勝田支店 茨城県ひたちなか市勝田中央12-15 029(275)3111

大宮支店 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 048(644)5841

柏支店 千葉県柏市柏2-6-8 04(7163)4311

千葉支店 千葉県千葉市中央区富士見1-15-9 043(222)8131

浅草支店 東京都台東区墨門2-4-8 03(3844)1717

池袋支店 東京都豊島区西池袋1-18-2 03(3983)5151

新宿支店 東京都新宿区西新宿1-6-1 03(3342)2511

渋谷支店 東京都渋谷区渋谷1-7-7 03(3409)3241

大手町支店 東京都千代田区内神田1-6-10 03(3295)5171

虎の門支店 東京都港区虎ノ門1-3-2 03(3502)1801

大森支店 東京都品川区南大井6-28-11 03(3763)3171

八王子支店 東京都八王子市明神町4-7-15 042(645)2211

横浜支店 神奈川県横浜市中区尾上町2-2-7 045(651)1251

沼津支店 静岡県沼津市大手町2-4-1 055(962)1313

静岡支店 静岡県静岡市葵区常盤町1-4 054(251)1331

浜松支店 静岡県浜松市中区鍛冶町140-2 053(456)2161

恵那支店 岐阜県恵那市大井町201-10 0573(25)2111

名古屋支店 愛知県名古屋市中村区名駅4-2-28 052(582)3431

金山支店 愛知県名古屋市中区金山1-13-6 052(321)1551

刈谷支店 愛知県刈谷市若松町2-101 0566(21)3232

金沢支店 石川県金沢市香林坊1-2-20 076(262)8811

四日市支店 三重県四日市市調訪栄町20-11 059(353)1131

鈴鹿支店 三重県鈴鹿市西条4-87-2 059(382)1345

津支店 三重県津市中央6-5 059(226)1511

津支店久居営業所 三重県津市久居新町3002-3 059(256)8777

伊賀上野支店 三重県伊賀市上野東町2922 0595(21)5131

名張支店 三重県名張市希央台5番町11 0595(63)1511

名張支店桔梗が丘営業所 三重県名張市桔梗が丘2番町4-1 0595(66)4688

松阪支店 三重県松阪市中町6-8-1 0598(21)2552

伊勢支店 三重県伊勢市本町11-1 0596(28)1171

志摩支店 三重県志摩市阿児町鶴方4042 0599(43)5511

尾鷲支店 三重県尾鷲市中村町3-36 0597(22)1515

京都支店 京都府京都市下京区四条通高倉西入立赤西町63-1 075(231)7111

宮津支店 京都府宮津市鶴賀2066-69 0772(22)2166

大阪店 大阪府大阪市中央区今橋1-8-7 06(6202)1191

梅田支店 大阪府大阪市北区梅田1-12-17 06(6345)2951

阿倍野支店 大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-100 06(6631)9331

千里支店 大阪府吹田市津雲台1-2-D9 06(6834)3535

東大阪支店 大阪府東大阪市足代2-3-6 06(6728)1133

堺支店 大阪府堺市堺区熊野町東1-1-2 072(233)5144

藤井寺支店 大阪府藤井寺市岡2-12-6 072(953)5941

奈良支店 奈良県奈良市本子守町1-1 0742(22)4001

和歌山支店 和歌山県和歌山市八番丁11 073(431)1431

神戸支店 兵庫県神戸市中央区三宮町1-1-2 078(392)5656

姫路支店 兵庫県姫路市十二所前町45 079(222)5961

岡山支店 岡山県岡山市北区田町1-3-6 086(224)5111

玉野支店 岡山県玉野市築港2-4-12 0863(31)1211

広島支店 広島県広島市中区大手町2-8-4 082(241)9511

宇部支店 山口県宇部市相生町9-7 0836(31)1171

松山支店 愛媛県松山市花園町1-3 089(932)2121

宇和島支店 愛媛県宇和島市錦町3-20 0895(22)5711

福岡支店 福岡県福岡市中央区天神1-12-20 092(751)3434

熊本支店 熊本県熊本市新市街11-18 096(325)7111

ニューヨーク駐在員事務所

420 Lexington Avenue, Suite 2529
New York, NY 10170, U.S.A. 212-983-1504

上海駐在員事務所

上海市浦东新区世紀大道100号
上海環球金融中心17階 21-6881-1001

■ グループ会社 ■

岡三オンライン証券株式会社 東京都中央区銀座3-9-7 03(3547)0100

丸福証券株式会社 新潟県長岡市大手通1-5-5 0258(35)0290

三見証券株式会社 東京都渋谷区代々木2-13-4 03(5371)3111

三緑証券株式会社 愛知県名古屋市中村区名駅南1-24-30
名古屋三井ビル本館14階 052(561)1811

岡三国際(アジア)有限公司 香港中環皇后大道中99號
中環中心46樓4601-3室 2525-3045

岡三アセットマネジメント株式会社 東京都中央区八重洲2-8-1 03(3516)1188

岡三情報システム株式会社 東京都江東区平野3-2-12 03(3820)1511

岡三ビジネスサービス株式会社 東京都中央区日本橋1-16-3 03(5203)1581

岡三興業株式会社 東京都中央区日本橋小網町9-9 03(3665)3500